

2008年3月期

中間決算短信添付資料（決算説明会資料）



当資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見直しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動



2008年3月期 中間期実績



2008年3月期 中間期実績

■ 業績ハイライト

Gallaherの連結開始に加え、海外たばこ事業における継続的なトップライン成長等により、売上高・各利益とも過去最高を更新

(単位: 億円)

	2007年3月期 中間期	2008年3月期 中間期	増減
税込売上高	23,776	29,140	5,364 (22.6%増)
税抜売上高	10,223	11,986	1,763 (17.2%増)
EBITDA	2,423	2,948	525 (21.7%増)
営業利益	1,778	2,191	413 (23.2%増)
経常利益	1,772	2,010	237 (13.4%増)
中間純利益	1,226	1,323	97 (7.9%増)



2008年3月期 中間期実績

国内たばこ事業

昨年7月の増税に伴う定価改定の影響等により販売数量が減少、マイルドセブンの価格改定により販売単価は上昇するも、原材料費および販促費の増加等により、減収・減益

(単位:億円)

	2007年3月期 中間期	2008年3月期 中間期	増減
税売上高	17,311	17,233	△ 78 (0.5%減)
税抜売上高 (除く輸入たばこ)	3,738	3,651	△ 87 (2.3%減)
EBITDA	1,742	1,654	△ 87 (5.0%減)
営業利益	1,348	1,245	△ 102 (7.6%減)

(単位:億本)

JT製品販売数量	909	858	△ 51 (5.6%減)
----------	-----	-----	-----------------

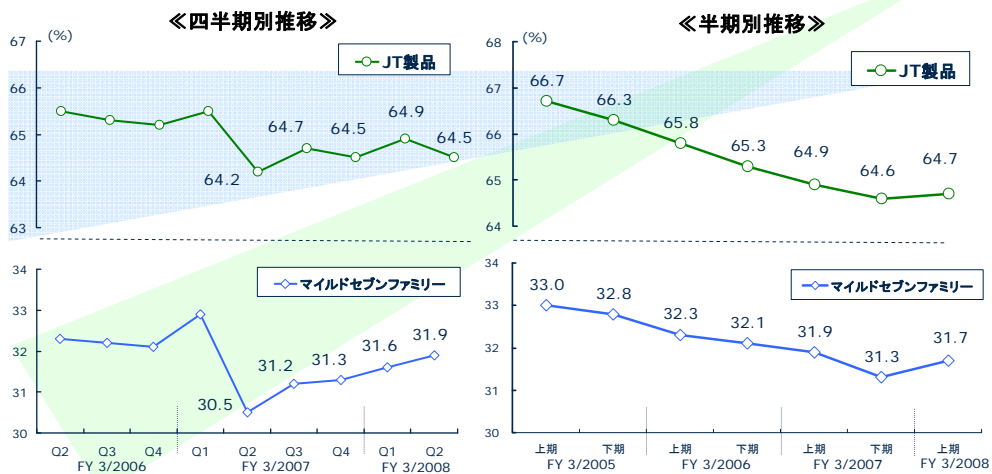
5



2008年3月期 中間期実績

国内たばこ事業 - JT製品の市場シェア ※

※ 新ベース=JTオリジナルブランド + JT1の国内向け製品(キャメル・ウインストン・セーラム等)



6



2008年3月期 中間期実績

海外たばこ事業

Gallaherの連結開始に加え、トップライン成長等により、前年を大幅に上回る実績

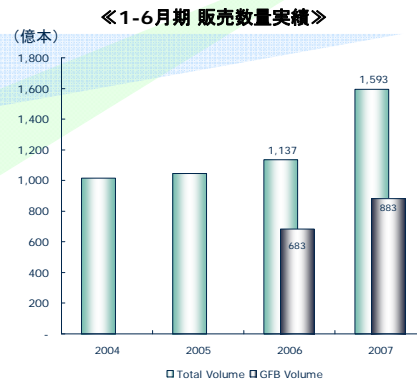
(単位: 億円)

	2007年3月期 中間期	2008年3月期 中間期	増減
税込売上高	4,683	10,054	5,371 (114.7%増)
税抜売上高 (除く物流事業)	2,562	4,030	1,467 (57.3%増)
EBITDA	547	1,183	635 (116.0%増)
営業利益	397	927	529 (133.4%増)

	2007年3月期 中間期	2008年3月期 中間期	増減
円ドルレート(円)	115.73	120.15	4.42

(参考) JTへのロイヤリティー支払い前 (単位: 百万USD)

	2007年3月期 中間期	2008年3月期 中間期	増減
EBITDA	532	1,058	526 (98.9%増)



注) 2006年GFB: Winston, Camel, Mild Seven
2007年GFB (2007年4月18日以降):
Winston, Camel, Mild Seven, B&H, Silk Cut, LD, Sobranie, Glamour

7



2008年3月期 中間期実績

医薬事業

前年同期には導出に伴う一時金収入があったこと、研究開発費の増加等により、減収・減益も、3品目について新規臨床入り、開発品の着実なステージアップとR&Dパイプラインの充実を、引き続き推進

(単位: 億円)

	2007年3月期 中間期	2008年3月期 中間期	増減
売上高	230	221	△ 9 (4.1%減)
EBITDA	△ 39	△ 58	△ 19
営業利益	△ 53	△ 74	△ 20

臨床開発品目(2007年10月31日現在)

開発名	適応症	開発段階
JTT-705(経口)	脂質代謝異常	国内: Phase1
JTT-130(経口)	高脂血症	国内: Phase2 海外: Phase2
JTK-303(経口)	HIV感染症	国内: Phase1
JTT-302(経口)	脂質代謝異常	海外: Phase2
JTT-305(経口)	骨粗鬆症	国内: Phase2 海外: Phase1
JTT-552(経口)	高尿酸血症	国内: Phase1
JTT-553(経口)	肥満症	海外: Phase1
JTT-651(経口)	2型糖尿病	国内: Phase1
JTK-652(経口)	C型肝炎	海外: Phase1

新規臨床入り

8



2008年3月期 中間期実績

※ 食品事業

飲料事業・加工食品事業を中心に増収も、原材料費・労務費の増加等により減益
引き続き、事業基盤の整備・強化に努める

(単位: 億円)

	2007年3月期 中間期	2008年3月期 中間期	増減
売上高	1,446	1,520	74 (5.1%増)
EBITDA	71	59	△ 12 (17.6%減)
営業利益	43	37	△ 6 (14.4%減)



ルーツ「プロダクト」



緑茶「辻利」



「お弁当大人気！」シリーズ
「ふっくらオムレット」



「いまどき和風」シリーズ
「れんこんはさみ揚げ」

2008年3月期業績予想

2008年3月期 業績予想

国内たばこ事業

EBITDAおよび営業利益は、当初見込と同水準を見込む

(単位:億円)

	2007年3月期 実績(A)	2008年3月期 当初見込(B)	2008年3月期 修正見込(C)	当初見込比 差異(C-B)	前年比増減 (C-A)
税込売上高	34,162	33,980	33,680	△ 300 (0.9%減)	△ 482 (1.4%減)
税込売上高 (除く輸入たばこ)	22,000	21,690	21,710	20 (0.1%増)	△ 290 (1.3%減)
EBITDA	3,264	3,000	3,000	0 (増減なし)	△ 264 (8.1%減)
営業利益	2,453	2,130	2,130	0 (増減なし)	△ 323 (13.2%減)

【主な前提条件】

(単位:億本)

JT製品販売数量	1,749	1,680	1,680	0 (増減なし)	△ 69 (4.0%減)
----------	-------	-------	-------	-------------	-----------------

2008年3月期 業績予想

海外たばこ事業

継続的なトップライン成長を踏まえ、EBITDAを上方修正

(単位:億円)

	2007年3月期 実績(A)	2008年3月期 1Q修正見込(B)	2008年3月期 修正見込(C)	1Q修正見込比 差異(C-B)	前年比増減 (C-A)
税込売上高	9,996	26,500	26,300	△ 200 (0.8%減)	16,303 (163.1%増)
税込売上高 (除く物流事業)	9,996	-	23,700	-	13,703 (137.1%増)
EBITDA	1,126	2,520	2,540	20 (0.8%増)	1,413 (125.4%増)
営業利益	810	2,030	1,930	△ 100 (4.9%減)	1,119 (138.0%増)

(参考)

(単位:百万USD)

EBITDA (JTへのロイヤリティー支払前)	1,090	2,250	2,310	60 (2.7%増)	1,220 (111.9%増)
----------------------------	-------	-------	-------	---------------	--------------------

【主な前提条件】

総販売数量(億本)	2,401	3,800	3,850	50 (1.3%増)	1,449 (60.3%増)
GFB販売数量(億本)	1,468	2,020	2,030	10 (0.5%増)	562 (38.3%増)
円ドルレート(円/USD)	116.38	120.00	118.00	△ 2.00	1.62

注1) 修正見込は旧JTの2007年1-12月期及びGallaherの約8.5ヶ月分

注2) 2007年3月期GFB: Winston, Camel, Mild Seven

2008年3月期GFB (2007年4月18日以降): Winston, Camel, Mild Seven, B&H, Silk Cut, LD, Sobranie, Glamour

2008年3月期 業績予想

■ 医薬事業

新規治療薬の導入一時金の支払い等により、下方修正

(単位:億円)

	2007年3月期 実績(A)	2008年3月期 当初見込(B)	2008年3月期 修正見込(C)	当初見込比 差異(C-B)	前年比増減 (C-A)
売上高	454	440	435	△ 5 (1.1%減)	△ 19 (4.3%減)
EBITDA	△ 81	△ 115	△ 130	△ 15 -	△ 48 -
営業利益	△ 112	△ 150	△ 165	△ 15 -	△ 52 -

■ 食品事業

チルド加工食品の減少等により、下方修正

(単位:億円)

	2007年3月期 実績(A)	2008年3月期 当初見込(B)	2008年3月期 修正見込(C)	当初見込比 差異(C-B)	前年比増減 (C-A)
売上高	2,865	2,980	2,970	△ 10 (0.3%減)	104 (3.6%増)
EBITDA	120	125	115	△ 10 (8.0%減)	△ 5 (4.3%減)
営業利益	67	80	70	△ 10 (12.5%減)	2 (4.4%増)

2008年3月期 業績予想

■ 連結業績予想

Gallaher買収に伴う商標権の償却額を織り込む

(単位:億円)

	2007年3月期 実績(A)	2008年3月期 1Q修正見込(B)	2008年3月期 修正見込(C)	1Q修正見込比 差異(C-B)	前年比増減 (C-A)
税込売上高	47,693	64,100	63,600	△ 500 (0.8%減)	15,906 (33.4%増)
EBITDA	4,646	5,740	5,720	△ 20 (0.3%減)	1,073 (23.1%増)
営業利益	3,319	4,190	4,050	△ 140 (3.3%減)	730 (22.0%増)
経常利益	3,120	3,820	3,700	△ 120 (3.1%減)	579 (18.6%増)
当期純利益	2,107	2,560	2,560	0 (増減なし)	452 (21.5%増)

注) 海外たばこ事業の修正見込は旧JTの2007年1-12月期及びGallaherの約8.5ヶ月分

■ Gallaher買収に伴う商標権および“のれん”について (取得時)

- ・ 商標権の金額: 約44億ドル(約5,232億円、2008年3月期より償却開始)
- ・ “のれん”の金額: 約147億ドル(約1兆7,515億円、2009年3月期より償却開始予定)
- ・ 償却期間: 20年

※商標権および“のれん”の円換算額については、取得時(2007年4月18日)の円/ドルレートを使用
※買収会計が未完了のため、修正される可能性がある

【参考資料】

2008年3月期 中間期実績 および 2008年3月期 業績予想 における増減要因の分析



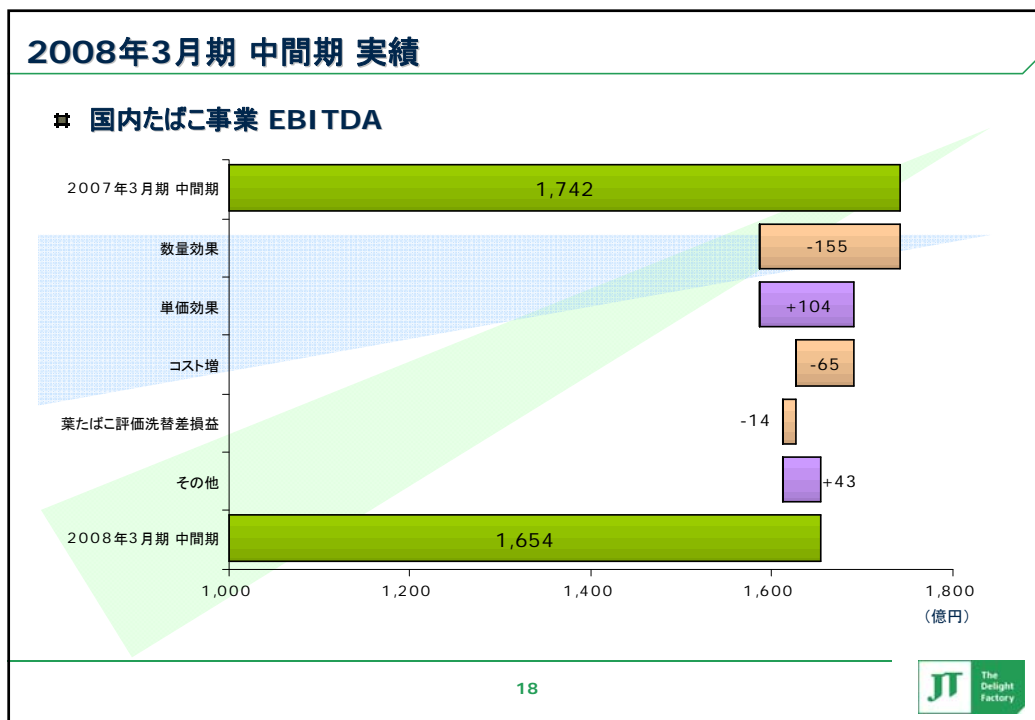
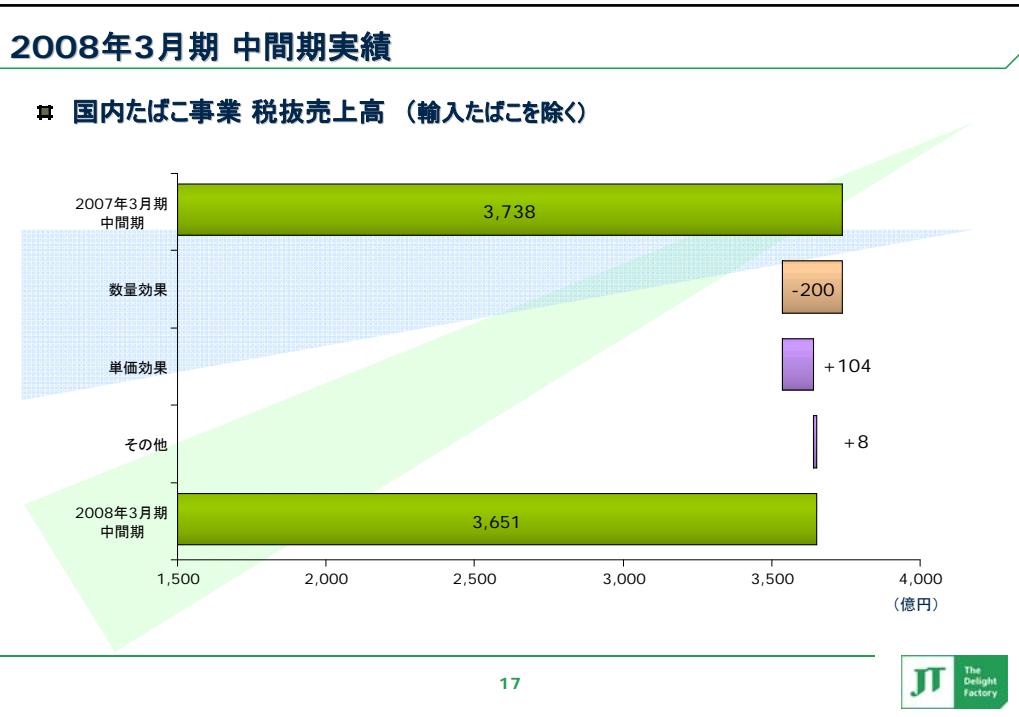
当資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見直しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

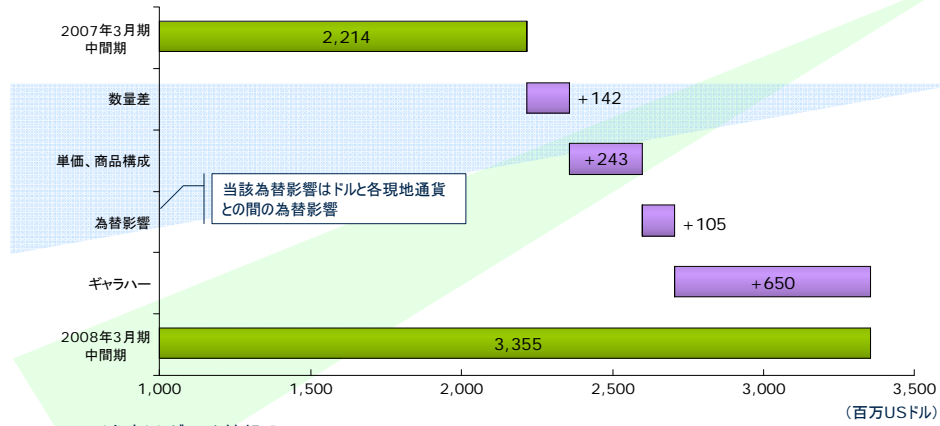
- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動





2008年3月期 中間期実績

※ 海外たばこ事業 税抜売上高（物流事業を除く）



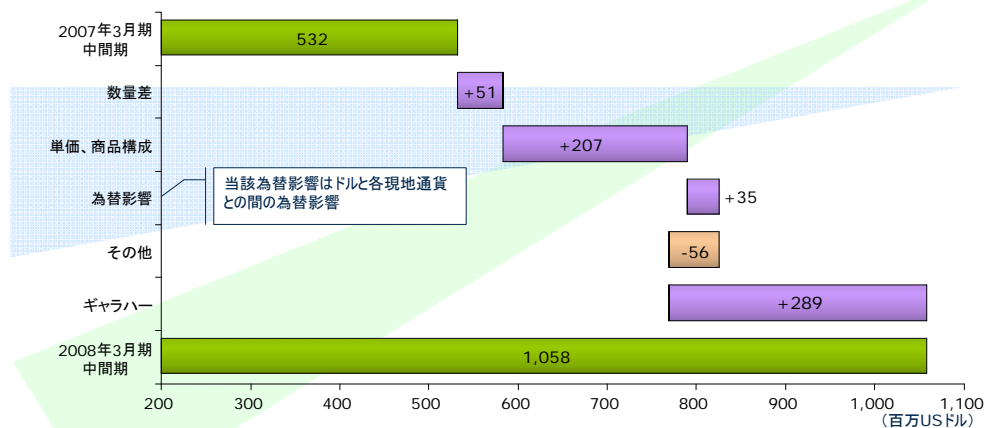
(参考)セグメント情報ベース (※)
 海外たばこ事業税抜売上高 2,562億円 → 4,030億円 (1,467億円増)
 ※ Gallaherより承継した物流事業の売上高は除く。

19



2008年3月期 中間期実績

※ 海外たばこ事業 EBITDA (JTへのロイヤリティー支払前)



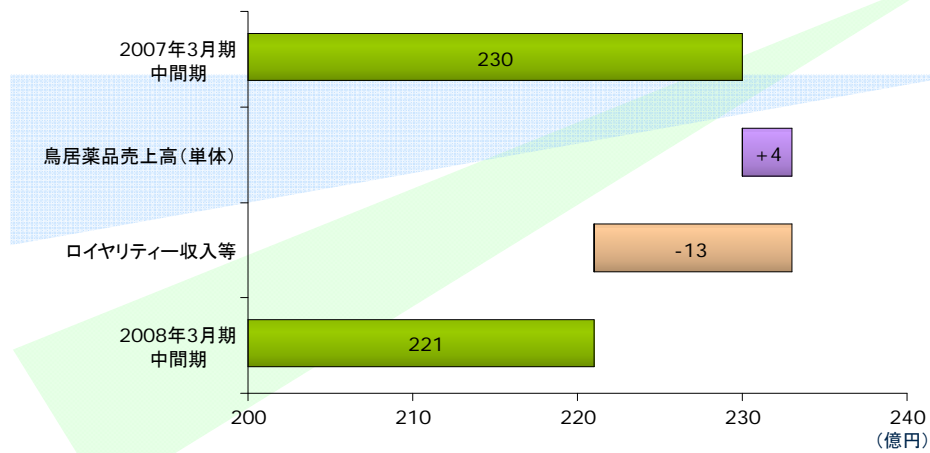
(参考)セグメント情報ベース
 海外たばこ事業EBITDA 547億円 → 1,183億円 (635億円増)

20



2008年3月期 中間期実績

※ 医薬事業 売上高

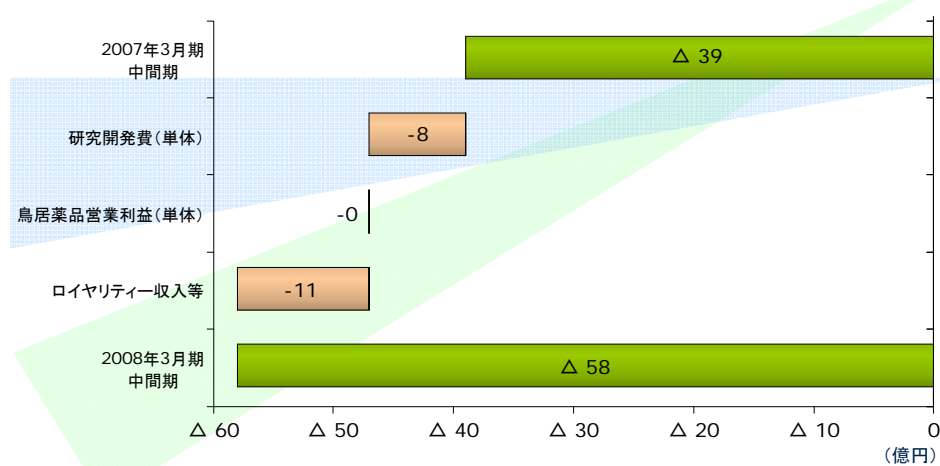


21



2008年3月期 中間期実績

※ 医薬事業 EBITDA

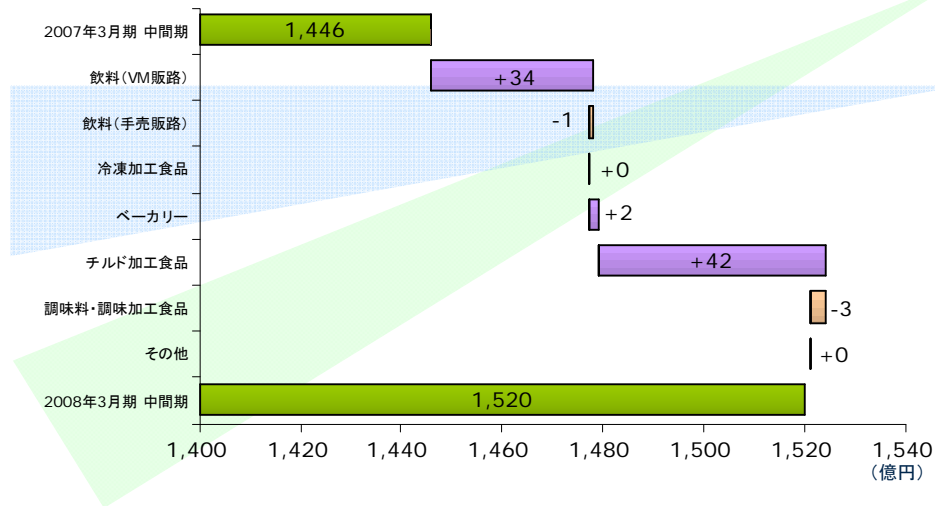


22



2008年3月期 中間期実績

※ 食品事業 売上高

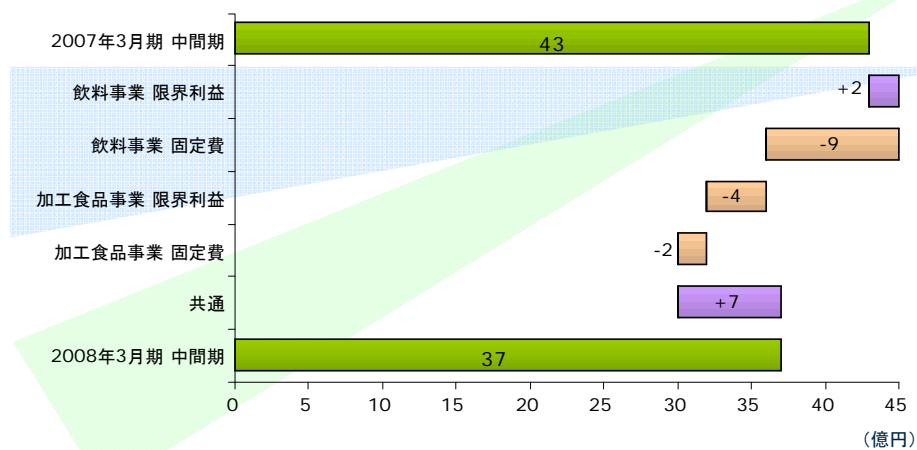


23



2008年3月期 中間期実績

※ 食品事業 営業利益

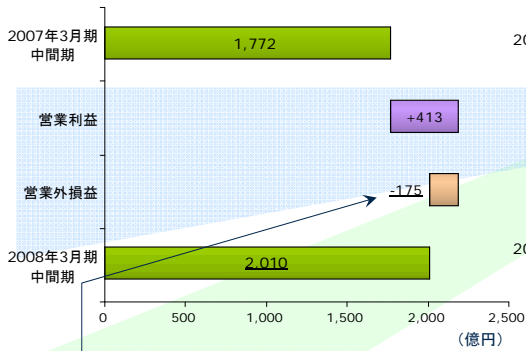


24



2008年3月期 中間期実績

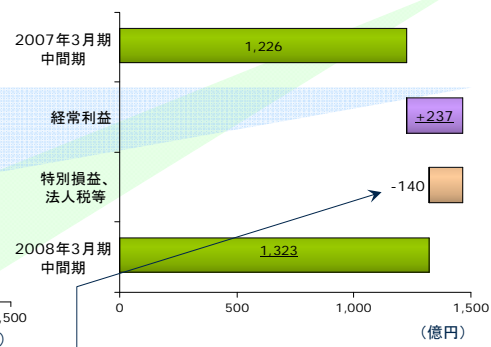
■ 経常利益



改善要因: 受取利息の増: 30億円
受取配当金の増: 3億円 等

悪化要因: 支払利息の増: 166億円
為替差益の減: 33億円
為替差損の増: 29億円 等

■ 当期純利益



改善要因: 固定資産売却損の減: 17億円
法人税等の減: 77億円 等

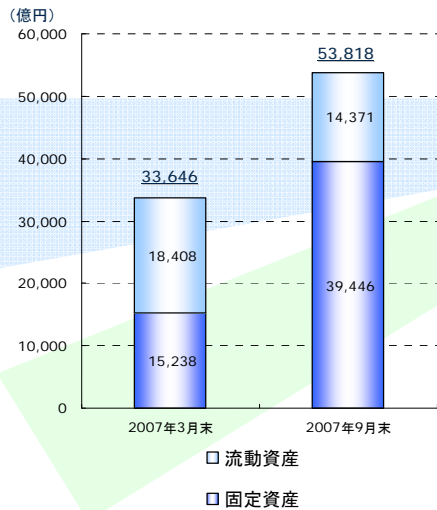
悪化要因: 固定資産売却益の減: 187億円
固定資産除却損の増: 6億円
減損損失の増: 8億円
成人識別自販機導入費用の増: 10億円 等

(このスライドは空白です)

2008年3月期 中間期 連結貸借対照表のポイント

■ 資産の部

2007年3月末との比較 ()内は主な要因



■ 流動資産は4,036億円減少

- ◆ 手元流動性*の減少 $\Delta 7,737$ 億円
*手元流動性=現金+有価証券+現先
- ◆ 営業債権*の増加 $+2,138$ 億円
*営業債権=受取手形及び売掛金

■ 固定資産は2兆4,208億円増加

- ◆ 設備投資による増加 $+570$ 億円
- ◆ 減価償却*による減少 $\Delta 756$ 億円
*減価償却費=有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却費
- ◆ “のれん”の増加 $+1兆8,288$ 億円
- ◆ 商標権の増加 $+5,308$ 億円

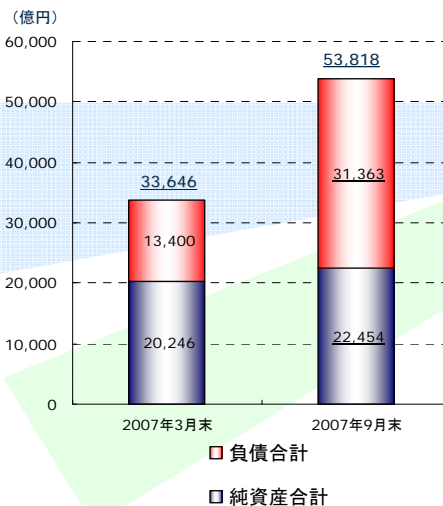
27



2008年3月期 中間期 連結貸借対照表のポイント

■ 負債・純資産の部

2007年3月末との比較 ()内は主な要因



■ 負債合計は1兆7,963億円増加

- ◆ 有利子負債*の増加 $+1兆1,785$ 億円
*有利子負債=短期借入金+社債+長期借入金
- ◆ 未払たばこ税等*の増加 $+1,992$ 億円
*未払たばこ税等=未払たばこ税+未払たばこ特別税+未払地方たばこ税

■ 純資産合計は2,208億円増加

- ◆ 利益剰余金の増加 $+1,009$ 億円
- ◆ 為替換算調整勘定の増加 $+1,353$ 億円

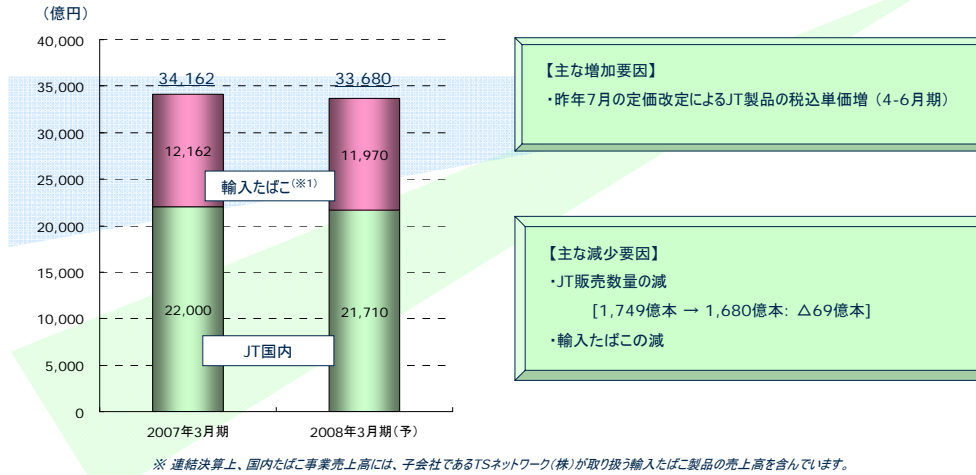
➢ 自己資本比率 $58.3\% \rightarrow 40.5\%$

28



2008年3月期 業績予想_対前年度実績

国内たばこ事業 税込売上高

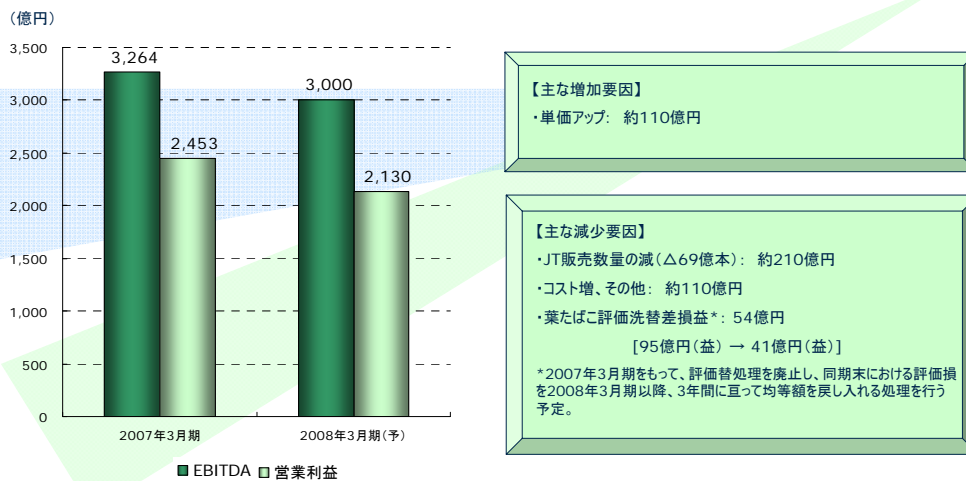


29



2008年3月期 業績予想_対前年度実績

国内たばこ事業 EBITDA / 営業利益



※ 今期の見込みに修正はありません。

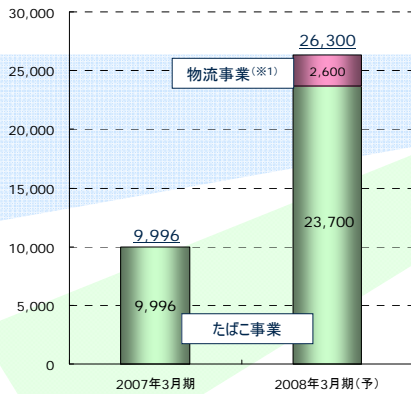
30



2008年3月期 業績予想_対前年度実績

海外たばこ事業 税込売上高 (※)

(億円)



【主な増加要因】

- ・Gallaherの新規連結
- ・成熟・新興双方市場でのバランスの取れたトップライン成長

(参考) 連結円ドルレート 116.38円 → 118.00円 (1.62円安)

※1 連結決算上、海外たばこ事業売上高には、Gallaherより承継した物流事業の売上高を含んでいます。
 ※2 海外たばこ事業の見込は旧JT1の2007年1-12月期及びGallaherの約8.5ヶ月分

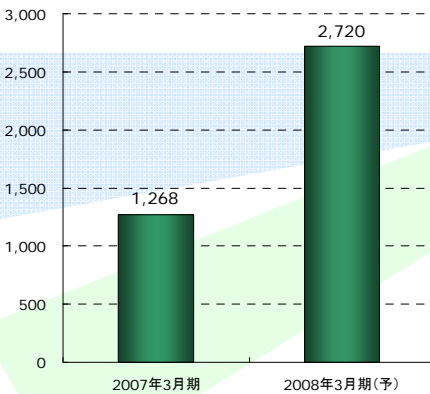
31



2008年3月期 業績予想_対前年度実績

海外たばこ事業 EBITDA (JTへのロイヤリティー支払前) (※)

(億円)



【主な増加要因】

- ・Gallaherの新規連結
- ・成熟・新興双方市場でのバランスの取れたトップライン成長

(参考) セグメント情報ベース

海外たばこ事業 EBITDA	1,126億円 → 2,540億円 (1,413億円増)
海外たばこ事業 営業利益	810億円 → 1,930億円 (1,119億円増)
連結円ドルレート	116.38円 → 118.00円 (1.62円安)

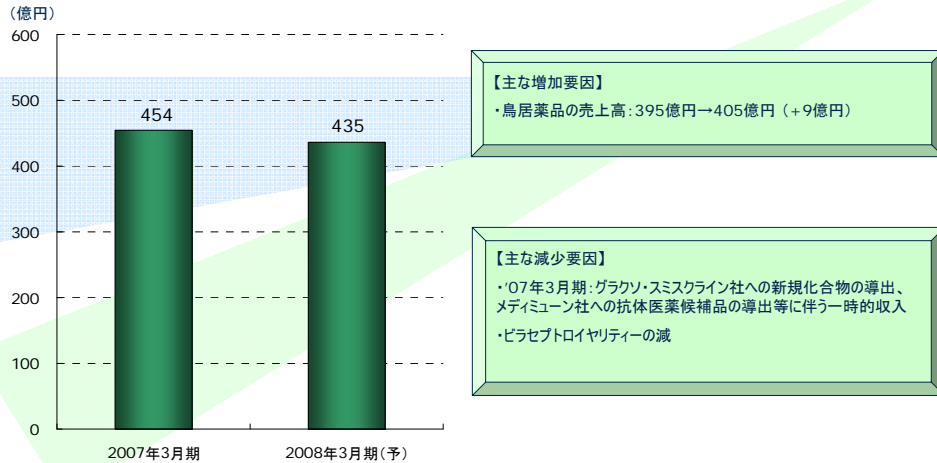
※ 海外たばこ事業の見込は旧JT1の2007年1-12月期及びGallaherの約8.5ヶ月分

32



2008年3月期 業績予想_対前年度実績

※ 医薬事業 売上高

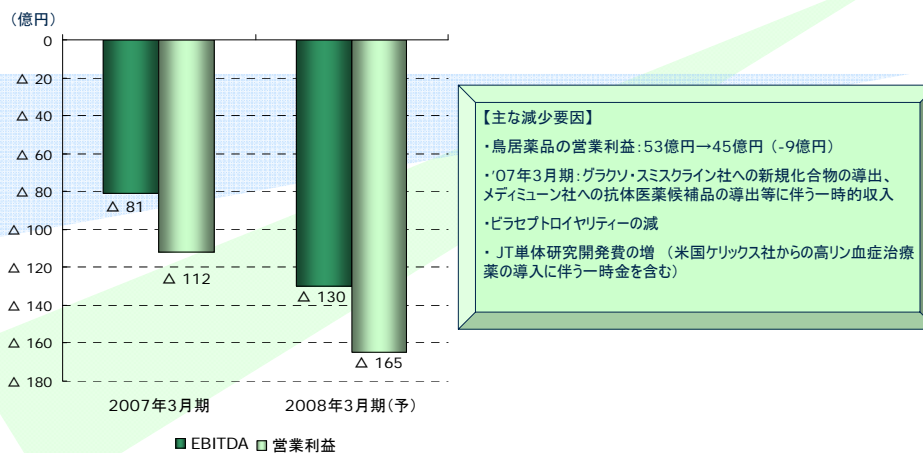


33



2008年3月期 業績予想_対前年度実績

※ 医薬事業 EBITDA / 営業利益

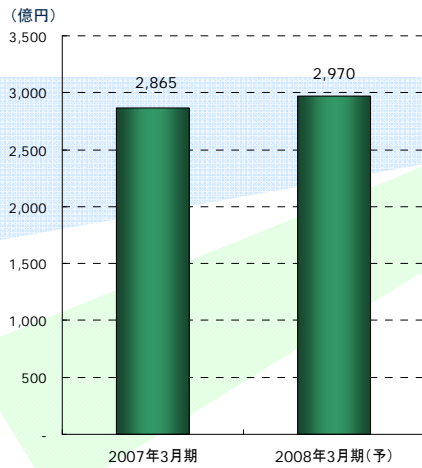


34



2008年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 食品事業 売上高



【主な増加要因】

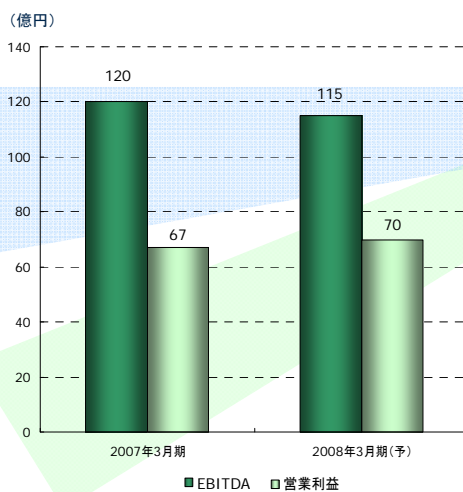
- ・飲料事業における自動販売機販路の着実な伸長
- ・冷凍加工食品における差別性ある商品の開発・投入
- ・ベーカリーの伸長

35



2008年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 食品事業 EBITDA / 営業利益



【主な増加要因】

- ・売上の増加に伴う限界利益増
- ・のれん償却費(JB関連)の減

【主な減少要因】

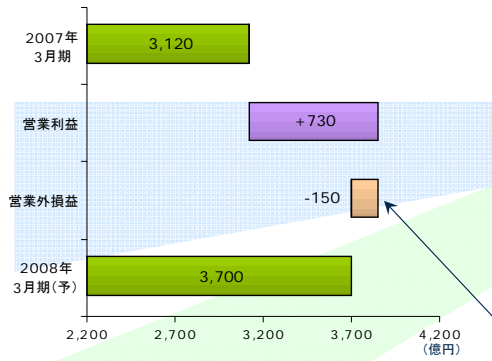
- ・事業拡大に伴う固定費増
- ・原材料高騰による利益率の低下

36



2008年3月期 業績予想_対前年度実績

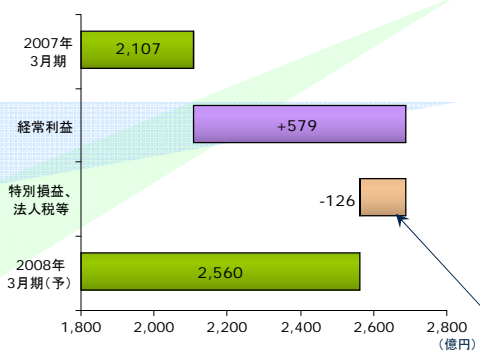
経常利益



- 改善要因:** Gallaher社の買収に関連した為替ヘッジ
ブリッジローン組成費用の減少 等
- 悪化要因:** Gallaher社の買収に関連した支払利息の増加
受取利息の減少
Gallaher社の既存負債に関する支払利息の増加 等

注) 海外たばこ事業の見込は旧JT1の2007年1-12月期及びGallaherの約8.5ヶ月分

当期純利益



- 悪化要因:** 法人税等の増加
特別損益(ネット)の悪化

2007年3月期中間決算データ集(1)

1. 売上高の内訳

(単位:億円)

	06年4-9月期	07年4-9月期	増減
全社税込売上高	23,776	29,140	5,364
国内たばこ事業	17,311	17,233	△ 78
除く輸入たばこ	11,161	11,088	△ 73
海外たばこ事業 ^(注1)	4,683	10,054	5,371
除く物流事業	4,683	9,257	4,573
全社税抜売上高 ^(注2)	8,081	9,533	1,451
国内たばこ事業 ^(注2)	3,738	3,651	△ 87
海外たばこ事業 ^{(注1)(注2)}	2,562	4,030	1,467
医薬事業	230	221	△ 9
食品事業	1,446	1,520	74
飲料事業	986	1,018	32
加工食品事業	460	502	41
その他事業	103	109	6

(注1): 海外たばこ事業は、1-6月期の実績

(注2): 国内たばこ事業の輸入たばこ、海外たばこ事業の物流事業を除く

2. 葉たばこ評価洗替差損益^(注)

(単位:億円)

	06年4-9月期	07年4-9月期	増減
葉たばこ評価洗替差損益	△ 35	△ 20	14

(注): マイナス表示の場合は評価益

3. 販売費及び一般管理費の内訳

(単位:億円)

	06年4-9月期	07年4-9月期	増減
販売費及び一般管理費	2,813	3,267	453
人件費 ^(注)	751	903	152
広告宣伝費	100	100	0
販売促進費	581	698	116
研究開発費	204	218	13
減価償却費	283	354	70
その他	892	991	99

(注): 人件費=報酬・給料手当+退職給付費用+法定福利費+従業員賞与+賞与引当金繰入額

4. 事業セグメント別EBITDA^(注1)

(単位:億円)

	06年4-9月期	07年4-9月期	増減
全社EBITDA	2,423	2,948	525
営業利益	1,778	2,191	413
減価償却費 ^(注2)	644	756	111
国内たばこ事業EBITDA	1,742	1,654	△ 87
営業利益	1,348	1,245	△ 102
減価償却費 ^(注2)	393	409	15
海外たばこ事業EBITDA ^(注3)	547	1,183	635
営業利益	397	927	529
減価償却費 ^(注2)	150	255	105
医薬事業EBITDA	△ 39	△ 58	△ 19
営業利益	△ 53	△ 74	△ 20
減価償却費 ^(注2)	14	15	1
食品事業EBITDA	71	59	△ 12
営業利益	43	37	△ 6
減価償却費 ^(注2)	28	22	△ 6
その他事業EBITDA	102	117	15
営業利益	41	59	17
減価償却費 ^(注2)	60	58	△ 2

(参考)

(単位:百万ドル)

	06年4-9月期	07年4-9月期	増減
海外たばこ事業EBITDA (ロイヤリティ支払前)	532	1,058	526

(注1): EBITDA=営業利益+減価償却費^(注2)

(注2): 減価償却費=有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却費

(注3): 海外たばこ事業は、1-6月期の実績

5. 主要投資案件の諸償却費

(単位:億円)

JT	06年4-9月期	07年4-9月期	償却年数	終了
IBRJRI関連				
商標権	146	146	10年	09年4月
特許権	20	4	8年	07年4月

JTインターナショナル

(単位:百万ドル)

	06年1-6月期	07年1-6月期	償却年数
IBRJRI及び旧Gallaher関連			
商標権 ^(注)	30	75	主に20年
のれん	-	-	20年予定

(注): 商標権の償却終了は、旧RJRIが19年4月、旧Gallaherが27年4月

6. 資本的支出

(単位:億円)

	06年4-9月期	07年4-9月期	増減
資本的支出	446	570	123
国内たばこ事業	234	295	60
海外たばこ事業 ^(注)	132	202	69
医薬事業	14	15	1
食品事業	21	24	2
その他事業	47	43	△ 3

(注): 海外たばこ事業は、1-6月期の実績

7. 手元流動性^(注)

(単位:億円)

	07年3月末	07年9月末	増減
手元流動性	11,856	4,119	△ 7,737

(注): 手元流動性=現預金+有価証券+現先

8. 有利子負債^(注)

(単位:億円)

	07年3月末	07年9月末	増減
有利子負債	2,192	13,977	11,785

(注): 有利子負債=短期借入金+社債+長期借入金

9. 主な事業関連計数

【国内たばこ事業】	06年4-9月期	07年4-9月期	増減
JT販売数量 ^(注)	909	858	△ 51
国内総需要	1,399	1,326	△ 73
JT販売数量シェア	64.9%	64.7%	△ 0.2%pt
JT千本当税込売上高	12,074	12,696	622
JT千本当税抜売上高	3,932	4,054	122

(注): JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。当該数量は、2006年4-9月期17億本、2007年4-9月期17億本。

【海外たばこ事業】	06年1-6月期	07年1-6月期	増減
販売数量	1,137	1,593	457
連結円ドルレート	115.73	120.15	4.42

【医薬事業】	06年4-9月期	07年4-9月期	増減
研究開発費(単体)	105	114	8

【食品事業-飲料事業】	07年3月末	07年9月末	増減
自動販売機台数 ^(注)	250,500	255,000	4,500
うちマーキング機	38,000	37,000	△ 1,000
うちコンビニ	66,000	69,000	3,000

(注): 自動販売機台数には、関係会社が運営する他社機(缶・ブリック等)及びカップ機を含む。「マーキング機」とは当社所有の自動販売機を指し、「コンビニ」とは関係会社所有で他社の製品も取り扱いながら、JT製品の露出を積極的に行う自動販売機を指す。

10. 従業員数^(注)

(単位:人)

	07年3月末	07年9月末	増減
従業員数(連結)	33,428	45,143	11,715
国内たばこ事業	11,534	11,667	133
海外たばこ事業	12,401	23,776	11,375
医薬事業	1,554	1,628	74
食品事業	7,084	7,200	116
その他事業	461	463	2
全社共通業務	394	409	15
従業員数(単体)	8,930	9,095	165
在籍ベース従業員数(単体)	9,984	10,144	160

(注): 従業員数は就業人員ベース

2007年3月期 中間決算データ集(2)

1. 2008年3月期連結業績予想(前回8月公表見込比較)

(単位:億円)

	8月公表見込	今回見込	増減
税込売上高	64,100	63,600	△ 500
EBITDA	5,740	5,720	△ 20
営業利益	4,190	4,050	△ 140
経常利益	3,820	3,700	△ 120
当期純利益	2,560	2,560	0
ROE(株主資本利益率)	12.2%	12.5%	0.3%pt
フリーキャッシュフロー ^(注)	-	△ 14,400	-

(注):フリーキャッシュフロー=(営業活動CF+投資活動CF)但し、以下の項目を除外する。

営業活動CFから

受取配当金/受取利息とその税影響額

支払利息とその税影響額

投資活動CFから

有価証券取得による支出/有価証券売却による収入

投資有価証券取得による支出/投資有価証券売却による収入/その他

上記の計算方式に従って計算したフリーキャッシュフローと表中のフリーキャッシュフローとの開差は投資有価証券の取得及び売却に含まれる事業投資株式によるもの。

(単位:億円)

	8月公表見込	今回見込	増減
資本的支出	1,460	1,420	△ 40
国内たばこ事業	640	670	30
海外たばこ事業	550	500	△ 50
医薬事業	30	45	15
食品事業	65	60	△ 5
その他事業	170	155	△ 15

事業セグメント別業績予想

(単位:億円)

	8月公表見込	今回見込	増減
税込売上高	64,100	63,600	△ 500
国内たばこ事業	33,980	33,680	△ 300
除く輸入たばこ	21,690	21,710	20
海外たばこ事業	26,500	26,300	△ 200
除く物流事業	-	23,700	-
医薬事業	440	435	△ 5
食品事業	2,980	2,970	△ 10
EBITDA	5,740	5,720	△ 20
国内たばこ事業	3,000	3,000	0
海外たばこ事業	2,520	2,540	20
医薬事業	△ 115	△ 130	△ 15
食品事業	125	115	△ 10
営業利益	4,190	4,050	△ 140
国内たばこ事業	2,130	2,130	0
海外たばこ事業	2,030	1,930	△ 100
医薬事業	△ 150	△ 165	△ 15
食品事業	80	70	△ 10

業績予想の主な前提条件

(1) 国内たばこ事業

(単位:億本)

	8月公表見込	今回見込	増減
販売数量	1,680	1,680	0

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2) 海外たばこ事業

(単位:億本、円)

	8月公表見込	今回見込	増減
販売数量	3,800	3,850	50
GFB販売数量 ^(注)	2,020	2,030	10
円/USドルレート	120.00	118.00	△ 2.00

(注) 08年3月期GFB: Winston, Camel, Mild Seven, B&H, Silk Cut, LD, Sobranie, Glamour

2. 2008年3月期連結業績予想(前期実績比較)

(単位:億円)

	前期実績	今回見込	増減
税込売上高	47,693	63,600	15,906
EBITDA	4,646	5,720	1,073
営業利益	3,319	4,050	730
経常利益	3,120	3,700	579
当期純利益	2,107	2,560	452
ROE(株主資本利益率)	11.3%	12.5%	1.2%pt
フリーキャッシュフロー ^(注)	2,230	△ 14,400	△ 16,630

(注):フリーキャッシュフロー=(営業活動CF+投資活動CF)但し、以下の項目を除外する。

営業活動CFから

受取配当金/受取利息とその税影響額

支払利息とその税影響額

投資活動CFから

有価証券取得による支出/有価証券売却による収入

投資有価証券取得による支出/投資有価証券売却による収入/その他

上記の計算方式に従って計算したフリーキャッシュフローと表中のフリーキャッシュフローとの開差は投資有価証券の取得及び売却に含まれる事業投資株式によるもの。

(単位:億円)

	前期実績	今回見込	増減
資本的支出	1,021	1,420	398
国内たばこ事業	552	670	117
海外たばこ事業	320	500	179
医薬事業	30	45	14
食品事業	48	60	11
その他事業	80	155	74

事業セグメント別業績予想

(単位:億円)

	前期実績	今回見込	増減
税込売上高	47,693	63,600	15,906
国内たばこ事業	34,162	33,680	△ 482
除く輸入たばこ	22,000	21,710	△ 290
海外たばこ事業	9,996	26,300	16,303
除く物流事業	9,996	23,700	13,703
医薬事業	454	435	△ 19
食品事業	2,865	2,970	104
EBITDA	4,646	5,720	1,073
国内たばこ事業	3,264	3,000	△ 264
海外たばこ事業	1,126	2,540	1,413
医薬事業	△ 81	△ 130	△ 48
食品事業	120	115	△ 5
営業利益	3,319	4,050	730
国内たばこ事業	2,453	2,130	△ 323
海外たばこ事業	810	1,930	1,119
医薬事業	△ 112	△ 165	△ 52
食品事業	67	70	2

業績予想の主な前提条件

(1) 国内たばこ事業

(単位:億本)

	前期実績	今回見込	増減
販売数量	1,749	1,680	△ 69

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2) 海外たばこ事業

(単位:億本、円)

	前期実績	今回見込	増減
販売数量	2,401	3,850	1,449
GFB販売数量 ^(注)	1,468	2,030	562
円/USドルレート	116.38	118.00	1.62

(注) 07年3月期GFB: Winston, Camel, Mild Seven

08年3月期GFB: Winston, Camel, Mild Seven, B&H, Silk Cut, LD, Sobranie, Glamour

国内JT製品データ集

(注1): 表中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。

(注2): 従来ベース: JTオリジナルブランド + 2005年4月末までのマールポロ + 2005年5月以降のJTIの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)

新ベース: JTオリジナルブランド + JTIの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)

国内たばこ事業関連係数

1. 四半期別販売数量

(単位: 億本)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	505	485	481	422	1,894
2006年度	540	368	446	393	1,749
2007年度	427	430			

(注): 上記の数値には、2005年4月末までのマールポロ販売数量及び2005年5月以降のJTIの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)の販売数量を含みます。

2. 四半期別定価代金

(単位: 億円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	6,947	6,642	6,582	5,780	25,952
2006年度	7,403	5,475	6,646	5,870	25,395
2007年度	6,367	6,414			

(注1): 販売定価代金 = 販売数量 × 小売定価

(注2): 上記の数値には、2005年4月末までのマールポロ販売数量及び2005年5月以降のJTIの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)の販売数量を含みます。

3. 四半期別千本当売上高

(単位: 円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	11,715	11,653	11,657	11,667	11,674
2006年度	11,663	12,677	12,688	12,699	12,371
2007年度	12,698	12,694			

(注1): 本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。

千本当売上高 = (販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税) / 販売数量 × 1,000

(注2): 上記の数値には、2005年4月末までのマールポロ販売数量及び2005年5月以降のJTIの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)の販売数量を含みます。

4. 四半期別千本当税抜売上高

(単位: 円)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	3,901	3,845	3,849	3,857	3,864
2006年度	3,852	4,050	4,050	4,056	3,990
2007年度	4,056	4,053			
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	3,845	3,846	3,849	3,857	3,849
2006年度	3,852	4,050	4,050	4,056	3,990
2007年度	4,056	4,053			

(注): 本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。

千本当税抜売上高 = { 販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税(国税) - たばこ税(地方税) - たばこ特別税(国税) } / 販売数量 × 1,000

5. 四半期別シェア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	69.6	65.4	65.3	65.2	66.4
2006年度	65.5	64.2	64.7	64.5	64.8
2007年度	64.9	64.5			
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	66.1	65.5	65.3	65.2	65.5
2006年度	65.5	64.2	64.7	64.5	64.8
2007年度	64.9	64.5			

伸張セグメントシェア

1. 四半期別タール1mgセグメントシェア

①JT タール1mg製品市場シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	10.6	11.7	12.2	12.5	11.7
2006年度	12.4	12.5	13.3	13.6	12.9
2007年度	13.9	13.7			
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	11.3	11.7	12.2	12.5	11.9
2006年度	12.4	12.5	13.3	13.6	12.9
2007年度	13.9	13.7			

②セグメント内シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	55.7	60.4	60.8	61.6	61.6
2006年度	61.3	60.9	62.4	62.2	62.2
2007年度	62.0	61.6			
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	59.7	60.4	60.8	61.6	61.6
2006年度	61.3	60.9	62.4	62.2	62.2
2007年度	62.0	61.6			

2. 四半期別メンソールセグメントシェア

①JT メンソール製品市場シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	8.1	6.5	6.6	6.7	7.0
2006年度	6.7	6.9	6.7	7.1	6.8
2007年度	7.2	7.5			
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	6.3	6.5	6.6	6.7	6.5
2006年度	6.7	6.9	6.7	7.1	6.8
2007年度	7.2	7.5			

②セグメント内シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	45.1	34.4	34.9	35.1	35.1
2006年度	35.0	34.1	33.8	34.8	34.8
2007年度	34.9	35.2			
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	34.7	34.4	34.9	35.1	35.1
2006年度	35.0	34.1	33.8	34.8	34.8
2007年度	34.9	35.2			

3. 四半期別320円以上製品セグメントシェア

①JT 320円以上製品市場シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	8.8	5.1	5.4	5.9	6.3
2006年度	5.7	5.4	5.2	5.5	5.5
2007年度	5.6	5.2			
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	5.1	5.2	5.4	5.9	5.4
2006年度	5.7	5.4	5.2	5.5	5.5
2007年度	5.6	5.2			

②セグメント内シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	39.1	22.2	23.1	24.5	24.5
2006年度	24.3	22.5	22.6	23.2	23.2
2007年度	23.5	22.0			
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	22.6	22.3	23.2	24.5	24.5
2006年度	24.3	22.5	22.6	23.2	23.2
2007年度	23.5	22.0			

* 2006年4-6月期以前は300円以上製品セグメント

4. 四半期別D-spec製品シェア

(単位: %)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	0.91	1.24	1.78	3.12	1.72
2006年度	4.12	3.84	3.85	4.34	4.04
2007年度	4.41	4.10			

* ビアニッシモ及びプレミアは2006年3月より、バヴェル・フリアは2006年12月より、

D-spec製品として販売しております。

医薬事業 臨床開発品目 (2007年10月31日現在)

開発名	開発段階	適応症	作用機序	詳細	権利
JTT-705 (経口)	国内：Phase1	脂質代謝異常	CETP (コレステリルエステル転送蛋白) 阻害	HDL (高密度リポ蛋白：善玉コレステロール) 中のコレステロールをLDL (低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール) に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTT-130 (経口)	国内：Phase2 海外：Phase2	高脂血症	MTP (ミクロソームトリグリセリド転送蛋白) 阻害	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる高脂血症治療薬	
JTK-303 (経口)	国内：Phase1	HIV感染症	インテグラーゼ阻害	HIV (ヒト免疫不全ウイルス) の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害するインテグラーゼ阻害薬	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTT-302 (経口)	海外：Phase2	脂質代謝異常	CETP (コレステリルエステル転送蛋白) 阻害	HDL (高密度リポ蛋白：善玉コレステロール) 中のコレステロールをLDL (低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール) に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	
JTT-305 (経口)	国内：Phase2 海外：Phase1	骨粗鬆症	CaSR (カルシウム感知受容体) 拮抗	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する骨粗鬆症治療薬	
JTT-552 (経口)	国内：Phase1	高尿酸血症	URAT1 (尿酸トランスポーター1) 阻害	腎臓における尿酸の再吸収に関与するURAT1の働きを阻害することにより、尿中への尿酸排泄を促進させ、血中尿酸値を低下させる高尿酸血症治療薬	
JTT-553 (経口)	海外：Phase1	肥満症	DGAT1 (ジアシルグリセロールアシルトランスフェラーゼ1) 阻害	トリグリセリドの合成に関わる酵素であるDGAT1を阻害することにより、小腸からの脂肪の吸収及び脂肪組織での脂肪の蓄積を抑制する肥満症治療薬	
JTT-651 (経口)	国内：Phase1	2型糖尿病	GP (グリコーゲンホスホリラーゼ) 阻害	グリコーゲン分解酵素であるGPの働きを阻害することにより、肝臓から血中への糖放出を抑制し、血糖を低下させる糖尿病治療薬	
JTK-652 (経口)	海外：Phase1	C型肝炎	エントリー阻害	HCV (C型肝炎ウイルス) の肝細胞への感染過程を阻害するC型肝炎治療薬	

前回 (2007年8月9日) 公表時からの変更点：JTK-652の海外臨床入り